

# 稲刈り 四〜六年

十月六日に学校田の稲刈りを行いました。雨のため、開始時刻を変更しての作業となりましたが、

と、手際よく稲を刈り取ることができました。残ってしまった稲は、後日、小林さんが刈り取ってくださいました。ありがとうございました。



【地域講師の皆さん】

## 刈るのが楽しかった稲刈り

四年

わたしは、初めて稲刈りをしました。とっても楽しかったです。

まず、四、五、六年生でペアを作りました。最初は五年生に見本を見せてもらってから、刈り始めました。初めてやるので、ちゃんとできるかどうか心配だったけど、刈ることができてよかったです。稲は、一回では切れませんでした。植えた苗が、こんなにも大きくなるのだと思いました。来年の稲刈りでは、もっとうまく刈ることができるようになりたいです。



## 楽しい稲刈り

四年



【すげ縄作り】

私のおじいちゃんとおばあちゃんがお米を育てているので、稲をかまで刈って、すげなわでむすび、稲木にかけてほしている作業を見たことがありません。わたしは、かまを使うのは今回が初めてだったけど、おじいちゃんたちが使っている姿を見ていたので、少しは使い方が分かり、上手に使うことができたと思います。すごく楽しかったので、来年もがんばって、稲刈りを楽しもうと思います。

## 最後までがんばった稲刈り

五年

天気が心配でしたが、地域の方のおかげで無事に稲刈りができました。ペアの子と協力して稲を刈ると、ザクザクという音が鳴り、だんだん楽しくなってきました。四、五東切ると、次は結ぶ作業です。五年生のみんなで作ったすげ縄を使いました。固結びをすると思っていましたが、結び方が違ったのでびっくりしました。これまで育ててきた稲が、とろろご飯の会に出るので、すごく楽しみです。地域の方への感謝を忘れずに、みんながおいしいと言ってもらえるようにがんばりたいです。

## 思い出に残った稲刈り

五年

ぼくは、稲刈りで思い出に残ったことが三つあります。一つ目は、稲を刈ることです。刈り方のコツを牧さんに教えてもらったので、上手に稲を刈ることができてうれしかったです。二つ目は、すげ縄でしぼることです。六年生の子が、縄のしぼり方をやさしく教えてくれたので、うれしかったです。三つ目は、みんなを手伝うことです。五年生は、稲刈りの準備をしました。だから、みんなのためにできることは、がんばって手伝いました。みんなの力で稲がたくさん刈れてうれしかったです。



【刈り取った稲を運ぶ子どもたち】



## 結ぶことに集中

六年



【協力して稲刈りをする子どもたち】

最後の稲刈りで、私が集中して取り組んだこと。それは、稲を刈るよりも束ねて結ぶことでした。その作業のときにうれしかったことがあります。それは、講師の方にほめられたことです。最初に束ねた稲をわたすと、「少しゆるいね。」

と言われました。次はもっときつくしようと思い、ぎゅっと力をこめて結びました。持っていくと、「うまくできたね。」

と言われて、とてもうれしかったです。稲刈りといえば、刈り取ることが楽しいものですが、今年はペアの下級生にゆずって、たくさん束ねたので、今までとはちがう自分に出会えた気がしました。



**陸上大会 男子 総合優勝!**

男子走り幅跳び優勝      男子走り高跳び優勝

すいーどきなんこ子  
市球技大会・市陸上大会

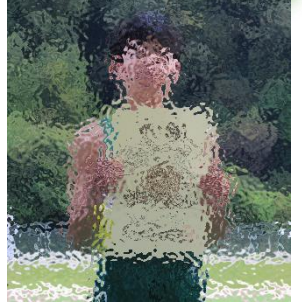
**東ブロック 第3位!**

●ソフトボール部  
③対小 4対5 惜敗  
②対小 13対4 快勝  
①対小 13対0 快勝



**1回戦突破!**

●バレーボール部  
②対小 1対2 惜敗  
①対小 2対0 快勝



【男子陸上部 種目優勝】

# ときなんナナメの教室

●第1回テーマ

「なぜ勉強しなければいけないの？」

●参加者

・子ども…五・六年生

・大人…PTA役員、保護者、教師

## ときなんナナメの教室

PTA副会長

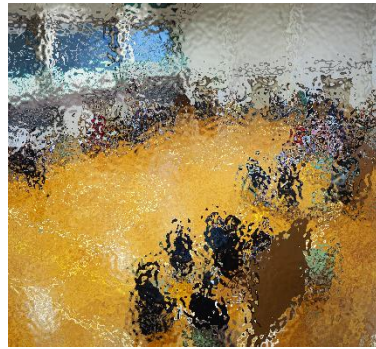
この度、地域の大人として、子どもたちの成長に関わる機会をいただき、大変ありがとうございます。

私が、「ナナメの教室」を開催したいと考えた背景を共有させていただきます。私自身、小さい頃から、勉強に励み、真面目に過ごせば、幸せになれると親から聞いて社会に出ました。しかし、大人になって仕事や家庭で出会う問題は、答えのない問題ばかり、学校で学んできたことは、無駄ではありませんでしたが、自分の意見を人に伝え、みんなが納得できる答えを導き出す訓練をしてこなかったと痛感しました。そこで、少しでも私たち地域の大人が子どもたちと答えのない問題を話し合うことで、大人になってから力強く生きていく力を子どもたちに身につけてもらいたいと考えました。

(3) 2022年10月7日(金) 一回目の「ときなんナナメの教室」を開催させていただきました。初めての開催

で手探りでしたが、参加していただきました保護者の方、先生方のサポートのおかげで、答えのない問題に対し、参加者全員が考え、その考えを周りの人に伝える機会を作ることができました。これから、さらに改善していきますので、ご協力お願いします。

この活動を通じて、子どもたちの成長だけでなく、地域の大人同士も自分たちのペースでゆるくつながり、笑顔あふれる「ときなん」になっていくきっかけを作れたらうれしいとわくわくしています。これからも、よろしくお願いいたします。



【ときなんナナメの教室】

## 勉強になった、ナナメの教室

五年

「なぜ勉強しなければいけないの？」というテーマで、ナナメの教室を行いました。この会は答えがなく、自由に意見が言えます。

私は、自分の好きなことを見つけるために勉強をしていると考えていました。理由は、もし英語が好きなら英語の先生になるために勉強をがんばるからです。みんなの意見を聞いていたけど、人によって、いろいろな理由があるんだと感じました。ナナメの教室を終えて明日からの勉強をがんばろうという気持ちが高まりました。

「ナナメの教室」と聞いて、ぼくはどんなものなのか想像できず、何かわかりませんでした。いろいろな立場の人が話し合うことを知り、しっかり発言できるか不安でした。当日、グループで自分の考えをみんなに伝えることができましたし、他の人の意見を聞くこともできました。その中で、ぼくの「なぜ勉強するのか」の答えが見つかりました。それは、将来への選択肢を増やすことです。勉強すると、なりたいたいと思った仕事につける確率が高くなります。



【グループに分かれておしゃべりタイム】

## 学んだ！ナナメの教室

六年

初めてのナナメの教室。私はどんなことをするのか、ときどきしていました。

今回のテーマ「なぜ勉強しなければいけないの？」について、私たち六年生と五年生、保護者の方、先生もいっしょに話し合い、それぞれの意見を聞きました。はじめは、勉強しないといけない理由が分からなかったけれど、みんなの意見を聞いて勉強することは、未来の自分に向けて大切な力になることがわかりました。

学校の勉強だけでなく、生活の中の学びも自分の力にできるようにがんばりたいです。



【意見交換後の発表タイム】

## 勉強は幸せのある未来への道

六年

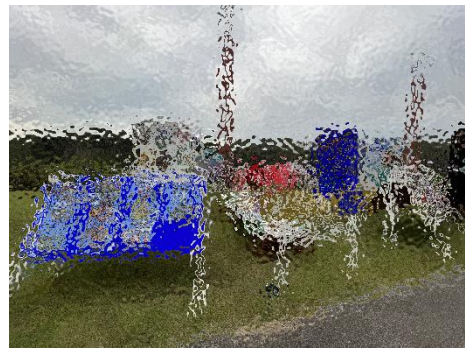
「ナナメの教室」と聞いて、ぼくはどんなものなのか想像できず、何かわかりませんでした。いろいろな立場の人が話し合うことを知り、しっかり発言できるか不安でした。当日、グループで自分の考えをみんなに伝えることができましたし、他の人の意見を聞くこともできました。その中で、ぼくの「なぜ勉強するのか」の答えが見つかりました。それは、将来への選択肢を増やすことです。勉強すると、なりたいたいと思った仕事につける確率が高くなります。

まだ、何になりたいかは決まっていないけれど、自主的に勉強し、未来の自分が幸せになれるように努力したいです。

## 第2回ときなんナナメの教室

1月27日(金) 6時間目

# おかざきっ子展

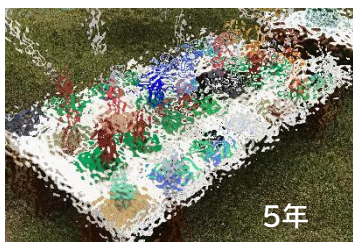
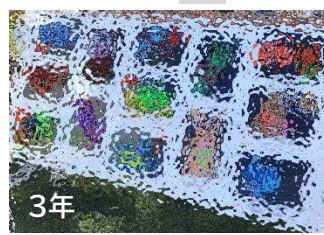
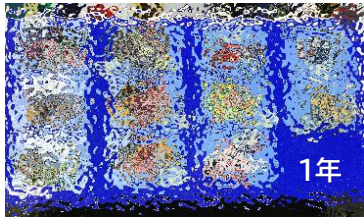


【3年ぶりに開催されたおかざきっ子展】

かぞくでみにいったよ

一年

おかざきっ子で、ぼくはかめをつくりました。ぬのをきって、はるのがたいへんでした。かめのこうらもようが、じょうずにできました。むずかしかったけど、がんばりました。こてんは、ママとパパといもうととぼくの四人でみにいきました。ママにほめられて、うれしかったです。



たのしかったおかざきっ子でん

二年

おかざきっ子でんに行くのと、いろいろな作ひんがありました。ガラスみたいな板に絵がかいてあるものがきれいでした。ぼうしみたいな形にかざりをつけたものもありました。地きゅうぎに、文字がかいてあるよな作ひんもありました。たくさん作ひんを見て、ぼくは、地きゅうぎをつかったものを作りたいと思います。また、来年も、おかざきっ子でんに行きたいです。

# 三年 社会科見学

山田農園への見学

三年

十月三日に社会科の見学で山田農園に行きました。

山田農園では、いろいろな野菜を育てていました。初めて知ったシカク豆という野菜は、実が四角くてサラダで食べるそうです。農園の人から、無農薬にこだわって野菜を作っているのを教えてもらいました。

家に帰ってから、山田農園にトウモロコシを買いに行きました。これからも、おいしい野菜を育ててほしいです。



【3年山田農園 社会科見学】

# ときなんっ子家康検定合格

九月二十日から始まった「ときなんっ子家康検定」。十問中、七問正解で合格となります。本格的な試験に挑戦、次の児童が見事合格を果たしました。

\*十月二十五日現在、五十五名合格

合格した皆の衆、大儀であった。検定は11月末までやっておるぞ。まだの者、挑戦を待っておるぞ！



# 子ども会 秋祭り

十月七日(土)に子ども会主催「秋祭り」が行われました。コロナウイルス感染症の影響で、学区の「夏祭り」が中止となる中、子どもたちには、たくさん夏の思い出を作ってもらえるよう企画されました。感染状況から延期となり、「秋祭り」となりましたが、当日はたくさんのお子さん、保護者、地域の皆様も参加し、ゲームや食事、大抽選会を楽しみました。



【スーパーボールすくい】



【お金を払ってチケット購入】



【シュートが決まるかな?】



【豪華賞品が当たる大抽選会】

## おめでとう



### 【理科作品コンクール】

- ・入選
- ・入選
- ・入選
- ・入選
- ・入選

### 【社会科作品コンクール】

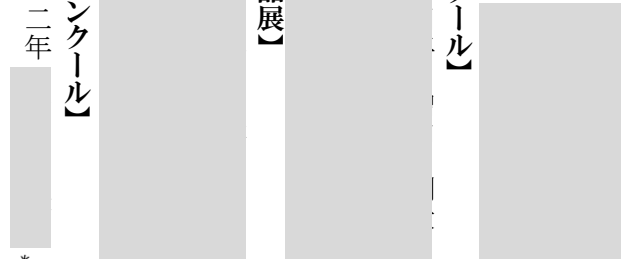
- ・入選
- ・入選
- ・入選
- ・入選
- ・入選

### 【技術・家庭科作品展】

- ・入選
- ・入選
- ・入選
- ・入選
- ・入選

### 【市環境ポスターコンクール】

- ・優秀賞
- ・入選



## 常南の心

### 『素直』の意味

二年担任 校務主任

二年生の級訓は、「素直」です。この級訓は、文字通り素直な心、優しい心をもった学級に、を目標にしています。

私が、この『素直』という言葉に、本当の意味で向き合えたのは、大学生のときでした。

大学時代、女子サッカー部に所属し、日々練習に明け暮れていました。選手として活躍し、大会で勝ち進むために、ミスをしたチームメイトに厳しい言葉で注意をするようなピリピリとした雰囲気の中で練習していました。そんな様子を見かねて、コーチがチーム全体を集め、『素直』について話してくれました。

『素直』の意味、「す」は拗ねない・「な」は舐めない・「お」は驕らない。このどれが欠けても素直ではない。自分のチームと素直な心で向き合う。素直な心でサッカーを楽しむ。と。

この話を聞き、心が晴れやかになり、心から素直にならなくてはと思うことができたような気がします。そして、サッカーというスポーツを心から楽しむことができ、そのときのチームメイトは今でも大切な仲間になりました。

教師になり、素直で優しい心は、周りも自分も助けてくれると信じ、学級通信の題はずっと『素直』です。



30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
		児童集会 委員会				健康かけ足 6日まで	勤労感謝の日	一斉下校 (一四時四五分)	児童集会 クラブ			全校遊び		就学時健康診断	自然薯掘り (高学年)	月曜集会 委員会		岡崎のハーモニー	読み聞かせ		6年十時登校	6年修学旅行	6年修学旅行			読み聞かせ	文化の日	PTA花壇の植え付け	4年ストップ温暖化教室

